



SDGs に関する取組み

「誰一人取り残さない社会の実現を目指した持続可能な開発目標（SDGs）」を意識した取組みが各校でされています。

各中学校での取組みを紹介します。

狭山中学校

令和3年3月5日に校内研修として「総合的な学習」の模擬授業が実施されました。「SDGsについて知ろう」というテーマで、ディベート形式での討論会や1人1台ずつのICT機器を使っの調べ学習について、どのような指導方法が効果的なのかを生徒役として体験していました。

タブレットを活用した学習を想定した討論会では最初に評価基準を確認するなど、授業で活用することを想定した取組みがありました。



南中学校

令和3年3月17日から22日にかけてポッチャ大会を行いました。例年はドッジボールなどの球技大会を行っていますが、今年度は感染対策を講じながらポッチャに取り組みました。「運動の得意不得意に関わらずいろんな生徒が活躍できた」や、「生徒が審判をすることができるので例年よりも生徒の主体性が高まった」との先生方の声がありました。



第三中学校

令和3年2月27日に日本国際博覧会協会と大阪府教育庁の共催で行われた「ジュニアEXPO 2025」に第三中学校の生徒がリモートで参加しました。社会問題になっている食品ロスを取り上げ、貧困問題を解決する方法としてフリーズドライを活用することを提案しました。審査員の方から高い評価をいただきました。



コミュニティ・スクール

南第一小学校

令和3年3月11日に南第一小学校で第3回学校運営協議会が行われました。次年度の学校運営方針について話し合いました。校長から説明があった後、委員の方々から児童アンケートや保護者アンケートに基づいた質問や意見が出ました。地域とともにある学校づくりを進めるために一小を応援していく緩やかなネットワークである「一小応援団」を少しずつ広げていくことを確認しました。そして、次年度の学校運営方針が承認されました。



この日の20分休憩には「ダンシン」を見学することができました。「ダンシン」は以前から体力づくりの一環として実施している、休み時間に音楽や映像に合わせて体を動かす取組みです。コミュニティ・スクールを進める中で地域コーディネーターの繋がりから地域の人材を紹介してもらい、振り付けを提案してもらったり、見本として踊ってもらったりし、より充実した取組みになりました。



学校運営協議会の後半には、来年度の取組みを充実させるためにどんなことができるのかを意見交換しました。日々の先生方の業務に関することや、環境整備に関する事、その他にも体力づくりや防災、地域の活性化に関する事など話題は多岐にわたりました。